

外部評価(事業仕分け)結果にかかる市の対応方針

事業番号	15	事務事業名	TAGAWAコールマイン・フェスティバル事業	担当課	商工観光課
評価結果	田川市要改善		市の対応方針	改善	
外部評価 (事業仕分け)時の意見、要望など	<p>【外部評価(事業仕分け)における議論時の意見、要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界記憶遺産の会場で行うことは意義があり、今後、もっと集客が見込めるとともに発展が求められるが、「取る工夫」も必要。ソーラン節のように炭坑節の部分を発展させる等</li> <li>・経済効果を把握していることは素晴らしいが、交通事業者のメリット等も他にあると思われる。出店料の算出は慎重に行った方が良い。広報の手法については、実行委員会に参画している事業者等と連携して行った方が良い</li> <li>・市民に対して企画案を数案示して意見をいただくような機会が必要かと</li> <li>・来年度以降の長期的な取組み計画があるか。今年度以降でバブル化することを危惧している</li> </ul>				
	<p>【評価シート記載コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民主体で実施できるよう、徐々に市の関与を減らしていくべき。</li> <li>・日本のみならず、世界でも有名になる可能性がある。博物館、炭鉱を最大限生かすべき。</li> <li>・よそ者、若者、バカ者と言われるように、ドラスティックに発想を転換をして、全国に発信できるまつりになるような工夫をぜひ行ってほしい。宿泊、飲食なども事業のためには充実も必要。</li> <li>・一般参加者からの協賛金(100円程度。任意)を徴収する等、収入確保に努めてほしい。</li> <li>・内容の充実、広報の充実に向け、検討を進めていくべき(特に市外から来やすくなるように)。ただし、市からの負担金については、抑制の意識で取り組むべき。事務局は外に出した方がよい。(※会計の透明化を図るべき)</li> <li>・やる事が前進していると思う(委員会)。色々案を出して市民がついて来る様な方向を考えた方がよいのではないか!</li> <li>・予算のバブル化の危険性アリ。ケースモデルのイベントの調査を複数行う必要性があります。今期を基にモデルチェンジを迫られる可能性もあります。</li> <li>・まつり事は一回でよい。炭坑節は色んなイベントで踊られているし、知れている。</li> <li>・意味があまり分からない。ほかにお金の使い方があると思う。</li> </ul>				
行政改革推進本部 決定内容	<p>【事業の手法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と行政の役割分担を明確にした上で、真の市民のまつりとして定着するように、今後、行政の関与を極力減らしていく。</li> <li>・経済波及効果を高める努力を行い、地域経済の活性化(観光事業等)に繋げていくべきである。</li> <li>・山本作兵衛氏の炭坑記録画の世界記憶遺産登録と本事業をどう連動させていくかの方策を検討する。</li> </ul>				
	<p>【翌年度予算について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当面は現状維持とするが、今後、実行委員会において自主財源確保を積極的に行い、本市の負担金支出額の削減に努めていく。</li> </ul> <p>【その他】</p>				